

防災・安全のまちづくり くらしいちばんに 予算のくみかえを

日本共産党

日本共産党は2月府議会で、地震対策や福祉・教育の充実にがんばりました。

防災・安全のまちづくりを

住宅耐震改修予算をふやす

大阪府の耐震改修助成は、今年度までの4年間でわずか813件。予算を20倍にふやす提案をしています。

危険河川の改修を

府内に37ある危険河川の改修予算は、ふやしたものの年8億円。せめて20億円にすべきです。これから500億円かける安威川ダム(茨木市)は中止し、堤防補強などを急ぐべきです。

小学校警備員なくさないで

寝屋川の小学校での殺傷事件(05年)を機に配置された小学校警備員。橋下知事は補助金を廃止しましたが、子どもが被害にあう事件はあとを絶ちません。

500校以上残る小・中・高校の耐震化を



「小学校の警備員なくさないで」の署名運動をする市民のみなさん

くらしと医療の安心を

救命救急医療に万全を

橋下知事は、千里救命救急センター(吹田市)への独自補助金を廃止しましたが、復活が必要です。

高すぎる国保料値下げを

減らした国の補助金を元に戻し、府も補助をふやすべきです。減免制度も拡充が必要です。



小学生になるまで医療費助成に府の負担を

大阪府の子ども医療助成は2歳までと全国最低レベル。しかも橋下知事は500円の窓口負担を800円に値上げしようとしたが、100万名の反対署名で断念しました。

大阪の地震対策を

日本共産党は、①原子力発電の安全対策②津波対策③高層建築物の耐震対策④大阪湾岸工場群の火災対策を知事に要請しています。

府庁WTC移転はストップを

WTCは震度3でエレベータ事故が発生。東南海・南海地震がおこれば揺れは今回の30倍です。

府議報酬30%カット実現

日本共産党がかねてから主張してきた議員報酬のさらなるカットが実現しました。

提案
しました

日本共産党の大阪府予算くみかえ案

- 国保料1世帯3千円値下げ.....45億円
- 低所得者の医療費を減免(実施する市町村に1/2補助).....30億円
- 子ども医療費助成を就学前まで拡大.....23億円
- 障害者団体の運営費復活、街かどデイハウス支援復活.....5億6千万円
- 小学校35人学級を3年生まで拡大.....14億円
- 学校警備員補助金継続.....5億円
- 中学校給食の市町村への初期投資を2/3に.....5年間で330億円
- 千里救命救急センターへの府補助を継続.....3億5千万円
- 住宅の耐震改修(借家も改修に含める対策を)1.9億円を20倍に...38億円
- 河川の老朽護岸対策(現在8億円).....20億円

財源は

★財政調整基金789億円から258億円取り崩す
★2010年度の決算剰余金を活用する

東日本大震災で被災された 方がたにお見舞い申し上げます

大阪府議会では、東日本大震災の被害への救援を求める決議とともに、日本共産党の提案で、原発の被害がこれ以上拡大しないよう全力をつくすことを求める意見書を採択しました。

救援募金を受けつけています

大企業の応援だけでなく くらしと中小企業振興で 大阪経済の立て直しを



国でも大阪でも、「国際競争に勝つ」と、大企業応援・呼び込み型開発を続けてきました。しかし、雇用やくらしは悪化、国や大阪の借金は大きくふえました。

大企業が儲ければくらしや景気がよくなるという、大企業応援だけの政治の失敗は明らかです。

いま必要なのは、政治の中身の転換です。

橋下知事の
「財政再建」

くらしや福祉削って大型開発はそのまま

大型開発はそのまま

	2007年度 (太田知事)	2011年度 (橋下知事)
阪神高速道路建設	23.9億円	30.6億円
水と緑の健康都市関連	40.1億円	53.8億円
安威川ダム建設	101億円	50億円
関空2期事業	165.5億円	152.8億円
本四架橋資金	8.3億円	8.3億円
企業立地促進補助金	27.8億円	39.7億円

福祉関係事業は軒並みゼロに
福祉団体への補助金や

	2007年度 (太田知事)	2011年度 (橋下知事)
障害者団体連合会	130.9万円	0円
身体障害者福祉協会	46.9万円	0円
視覚障害者福祉協会	42.0万円	0円
聴力障害者協会	108.2万円	0円
精神障害者家族会連合会	245.0万円	0円
精神障害者社会復帰促進協会	171.5万円	0円
原爆被害者団体協議会	105.0万円	0円
母子寡婦福祉連合会	235.0万円	0円
老人クラブ連合会	150.0万円	0円
高齢者住宅改造助成事業	1億6535.0万円	0円

橋下知事と
維新の会

さらに府民犠牲と巨大開発推進を計画

関空まで5分短縮に
4000億円の
1分800億円の
鉄道計画

事業費2千億～4千億円もの高速鉄道「なにわ筋線」。建設しても、梅田から関空までの時間短縮はわずか5分。門真と大阪ベイエリアを直結する高速道路「淀川左岸線延伸部」も3千～4千億円が必要です。そのうえ何千億円もかかる「関空リニア」まで計画。こんな大規模事業は必要ありません。

国保の広域化

府内市町村の国保会計を、一般会計からの繰り入れをやめて府内で統一する計画。1世帯当たり約2万円の値上げにつながります。

府営住宅半減

今でも20倍を超える応募倍率。戸数増が必要なのに、将来「半減をめざす」計画です。

救急医療

中河内救命救急センターの東大阪市へのおしつけなどを計画。救命救急に対する府の責任の大幅後退です。

特別養護老人ホーム補助削減

不足する特養老人ホームの建設補助金の削減を計画。待機者がますますふえます。



くらしと安全向上施策で
仕事生み出し、
地域経済の振興を

住宅リフォーム助成

老朽家屋の改修やバリアフリー、畳替えなど「住宅リフォーム」の助成制度が広がっています。府でも実施し、山形県なみに工事費の10%を助成すれば、105億円の予算(市町村と折半)で3150億円の工事が生まれ、のべ4万人の雇用効果が生み出されます(大阪府産業連関表による)。



開発政治
ノーチェックの
維新の会
追随する
自民、民主、公明

自民党や民主党、公明党は、これまでの開発型府政に「何でも賛成」、需要の見込めない2本目の滑走路を関空につく高速道路建設を推進、りんくうタウンや産業団地造成は大失敗しました。

維新の会は、知事の言うことは「ノーチェック」で何でも賛成、さらなる開発型政治を推進です。

府民の願い届け実現に全力
日本共産党

請願の99.9%を紹介

府民の声や切実な願いを議会や府政に届け、がんばっています。

前回の府議選以降、のべ600万人を超える府民の請願署名が寄せられましたが、日本共産党はその99.9%の紹介議員になり、採択に力をつくしました。

知事議案に対しても、府民の目線で一つひとつチェック。議案の約7割に賛成しています。



会派	請願紹介
日本共産党	99.9%
維新の会	1.5%
自民党	6.7%
民主党	6.6%
公明党	6.6%